

# ふじがわ

4 月号 昭和62年 4 月 5 日発行 No. 3 0 9

## 町のメモ

昭和62年 4 月 1 日現在	
人 口	16,900人
増 減	-29人
男	8,342人
女	8,558人
世帯数	4,415世帯
面 積	31.09km <sup>2</sup>

富士川町 総務課



小林たみさん  
100歳を迎え

ますます元気！

町のことしの目標  
「健康な心とからだ  
で住みよい町に」

### おもな内容

- 2～7ページ 昭和62年度一般会計及び四つの特別会計のあらまし、町づくりの重点・おもな事業、中村助次氏教育長に就任
- 8～9 パネルディスカッションのあらまし
- 10～11 今日も元気で、社会教育あれこれ、町の昔ばなし伝説
- 12 戸籍の窓、短歌会

町最高齢者の小林たみさん(小山)が、3月18日満100歳の誕生日を迎えました。町では「長寿者介護慰労金条例」に基づき、19日、息子の数馬さん(75)に、常葉雅文町長からお祝いの言葉や慰労金70万円を贈りました。

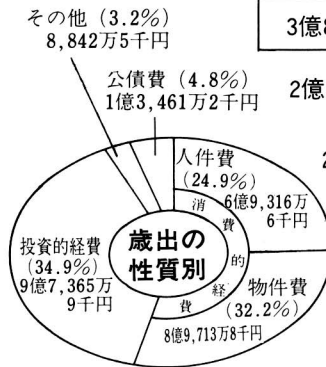
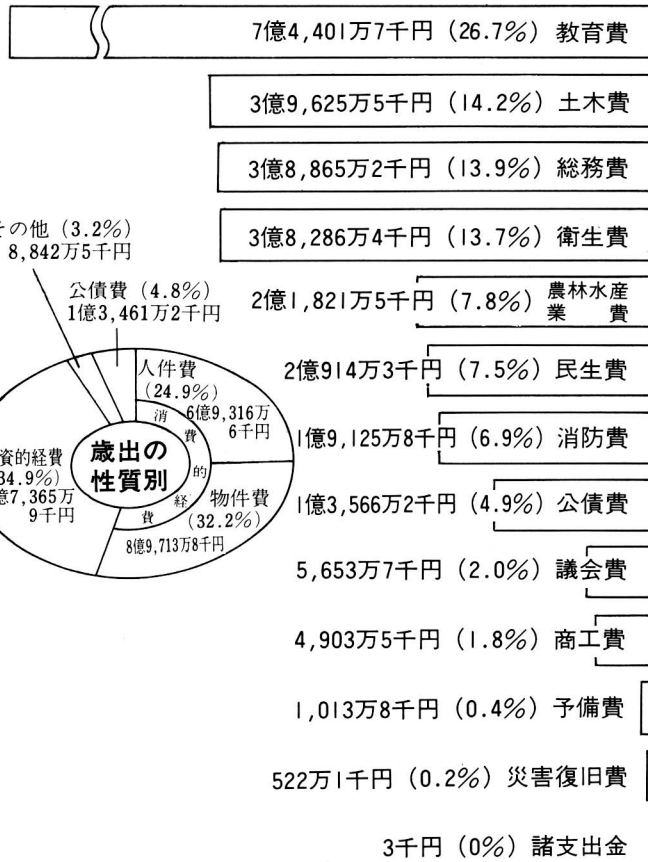
数馬さんは、「息子として当然のことはしたまでですが、好意に大変感謝しています。母は少し耳が遠いですが、近くの山へ散歩しながら草取りなどをしてとても元気です。これからも長生きするよう、お金を有効に使用させていただきます」と話していました。

昭和62年度特別会計の予算規模

会計名	62年度 当初予算	61年度 当初予算	比較	
			増減	伸び率
土地取得	9,815万3千円	1億9,218万5千円	△9,403万2千円	△51.0%
国民健康保険	5億3,915万1千円	5億3,923万1千円	△8万円	0
水道事業	3億2,575万6千円	2億5,955万7千円	6,619万9千円	25.5
老人保健	4億2,643万3千円	3億9,055万4千円	3,587万9千円	9.1
合計	13億8,949万3千円	13億8,152万7千円	796万6千円	0.5

昭和62年度一般会計  
第二中学校  
27億

＝ 目的別歳出 ＝



( ) は構成比

依存財源の内訳

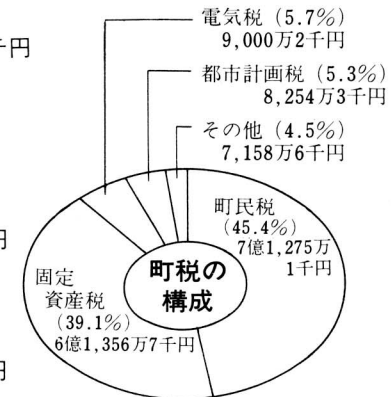
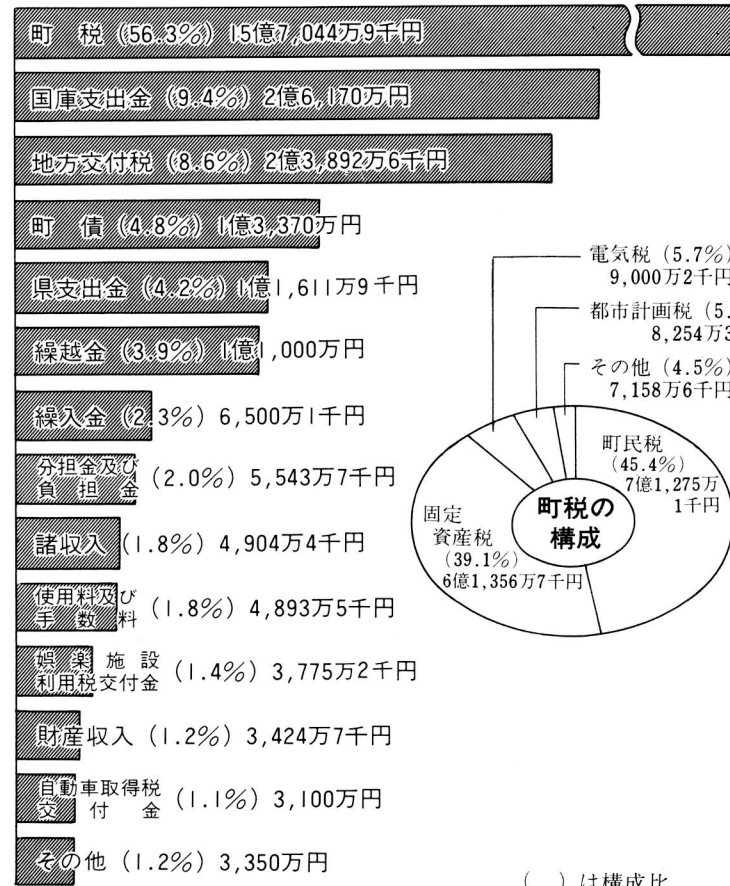
依存財源	8億5,269万7千円
地方交付税	2億3,892万6千円
国庫支出金	2億6,170万円
県支出金	1億1,611万9千円
交通安全対策特別交付金	400万円
町債	1億3,370万円
地方譲与税・その他	9,825万2千円

自主財源の内訳

自主財源	19億3,430万3千円
町税	15億7,044万9千円
分担金及び負担金	5,543万7千円
使用料・手数料	4,893万5千円
繰入金	6,500万1千円
繰越金	1億1,000万円
諸収入・その他	8,448万1千円

耐震補強改築事業を中心として  
8,700万円でスタート

＝ 目的別歳入 ＝



( ) は構成比

町議会の3月定例会が、3月10日(火)から四日間の会期で開会されました。常葉雅文町長の一般行政報告のあと、当日提案された議案は、人事案件二件、昭和61年度補正予算五件、昭和62年度当初予算五件など合計十八件で、慎重に審議された結果、すべて原案どおり可決されました。

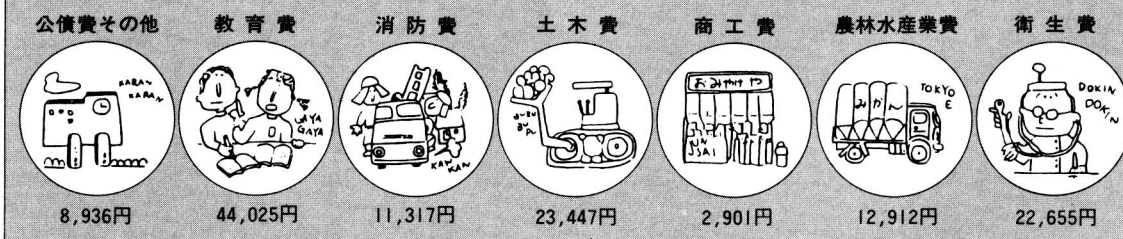
人事案件では、教育委員の望月康江氏(舟山町)の後任として、中村助次氏(堺)

町が同意され、選挙管理委員には、小野日央氏(上町)・田中又吉氏(本通三)・太田秋房氏(小山)・宇佐美孝氏(大北町)が、また、同委員の補充員には、望月保氏(旭町)・若月儀一氏(堺町)・芦沢鈴氏(本通一)・影島寿恵雄氏(南町一)が当選されました。

今月号では、昭和62年度一般会計や四つの特別会計の重点施策のあらましを紹介いたします。

昭和62年4月1日現在 16,900人

私たち一人当たりどれくらいのお金が



らのお金が



昭和62年度町の当初予算編成は、厳しい財政状況のなかで、歳入については財源の確保や収入の増進に一層努力し、歳出については全面的に制度・事業などの見直しを行い合理化を積極的に推進し、住民生活の充実に上のため、必要性・緊急性・効果及び将来の財政負担を十分検討し、事業を選択することを勘案し編成されました。

この結果、一般会計の合計は、二十七億八千七百万円となりました。

予算編成の基本方針

# 町づくりの重点

安全で

住みよい町づくり

昭和57年から継続されている校舎耐震補強工事は、第二中学校で完了となりますが、本工事では、改築大規模改修を併せて行ない、教育環境の整備・安全を図り、消防施設では、引き続き耐震防火貯水槽の二基を設置し、また、急傾斜工事負担金、河川防災・町道防災工事などのほか、要望の多い側溝改良費を確保



耐震補強工される二中校舎

するとともに、庵原地区消防組合負担金を計上しています。

## 産業基盤整備と

### 活性化対策

基幹農道として整備を進めている農免農道・中之郷農免農道事業に着手、林業基盤整備の林道事業にも対応、地場産業の活性化をめざす予算化として「フリューエイオアシス構想」町活性化事業推進」委託費を計上し、積極的かつ強力に町の活性化を

目標とする一方、季節資金・小口資金の貸付制度、勤労者住宅建設資金貸付金などの予算化をしています。

## 健康で

清潔な町づくり

町民の健康に対する関心が高

まるなかで健康診査の充実のため、本年度から肺がん・血液検査をも併せて実施し、町民の健康管理に欠かせない健康相談や

健康予防をPRする健康カレンダーなど新たに計上したほか、生活排水対策推進補助金、共立蒲原総合病院負担金、庵原郡環

境衛生組合負担金、水道会計繰入金、不燃物のコンテナー収集などを予算計上しています。

高齢化社会対策の一環として

シルバー富士川の発足に補助金を計上、また、きめこまかく福祉事業を進めるため町社会福祉協議会補助金・家庭奉仕員派遣事業、好日の園建設補助金など

おもいやりのある

町づくり

高齢者対策の充実、国民健康保険・老人保険会計への繰出しをも予算化しました。

うるおいのある

町づくり

第一公園・河川敷いこいの広場造成・はたご池修景工事など身近なところやすらぎのある場を求める要望に対応しつつ、また、将来的な親水公園計画の具体化をめざす一方、中央公民館を中心とした文化事業をより

一層充実させると共に、各種学級・教室などによって、精神的にもうるおいのある文化のまちをめざし予算化を図りました。



整備が進む第一公園のシンボルタワー



修景工事が行われるはたご池

# 町づくりへのおもな事業

## 議会費

五、六五三万七千円  
議会費は、十八名の町議会議員及び事務局の経費で、昨年度に比べて、百七十三万七千円三・二割増となつています。

## 総務費

三億八、八六五万二千元  
総務、管理検査、出納、税務、住民基本台帳・選挙管理委員会費及び監査委員費です。昨年度に比べて七千五百六十六万五千円一・六・三割の減となっています。

## 民生費

二億九一四万三千元  
町民のみなさんが安定した社会生活などをおくることのできるように行う諸事業の経費で、今年度から障

害者福祉費が社会福祉費から独立しました。

## 農林水産業費

二億一、八二一萬五千元  
豊かな町民生活を支える農林業振興対策として、農業基盤の整備に努め、林道及び農道の開設などを目的とした予算です。

## 衛生費

三億八、二八六万四千元  
町民のみなさんが、健康で衛生的な生活環境を保持するため

## 土木費

三億九、六二五万五千元  
生活環境を整えて住みよい町

をつくるには、土木事業は重要なことですので、積極的に進められてきました。

## 消防費

一億九、一二五万八千元  
庵原地区常備消防・消防団・消防施設・地震対策関連事業が主で、昨年度に比べ二千四百万九千円一四・四割増になっています。

園管理費をはじめ、校舎の安全確保、文化事業交付金などを予算計上し、昨年度に比べ二億二千二百二十二万六千円四二・六割増となっています。

- ◎都市下水路工事請負費
- ◎河川防災維持工事請負費
- ◎公園工事請負費
- ◎道路改良工事請負費
- ◎フリーウェイオアシス構想委託料
- ◎親水公園基本計画
- ◎上町・舟山町ほか急傾斜地防災工事負担金

- ◎消防ポンプ車購入
- ◎消防施設工事請負費
- ◎地震対策費
- ◎教育費
- ◎七億四、四〇一萬七千元
- ◎教育委員会・小中学校・幼稚園

## 3月定例会で可決された提出議案

- ◎教育委員の任命につき同意を求めることについて
- ◎選挙管理委員、同補充員の選挙について
- ◎体育施設建設基金条例の制定について
- ◎富士川町保育所入所措置条例の制定について
- ◎富士川町立保育園条例の一部を改正する条例につ

- ◎富士川町水道事業給水条例の一部を改正する条例について
- ◎町営土地改良事業の施行について
- ◎土地の取得について
- ◎昭和61年度富士川町一般会計補正予算について
- ◎昭和61年度富士川町土地取得特別会計補正予算について
- ◎昭和61年度富士川町国民健康保険特別会計補正予算について
- ◎昭和61年度富士川町水道事業

- ◎昭和61年度富士川町老人保健特別会計補正予算について
- ◎昭和62年度富士川町一般会計予算について
- ◎昭和62年度富士川町土地取得特別会計予算について
- ◎昭和62年度富士川町国民健康保険特別会計予算について
- ◎昭和62年度富士川町水道事業会計予算について
- ◎昭和62年度富士川町老人保健特別会計予算について

# 国民健康保険特別会計予算

みなさんの家で、家族のだれかが病気をしたり、思わぬ事故でケガをしたとき、会社に勤めている人や家族は、各種保険に加入しているため対応できます。しかし、保険などに加入していない人は、多額の医療費負担で、家族の生活がぐるぐるしてしまいかもしれません。このようなときにそなえようとするのが

歳区	入	
	本年度予算額	構成比
国民健康保険税	2億5,469万5千円	47.2
使用料及び手数料	1万円	0
国庫支出金	1億6,703万3千円	31.0
療養給付費交付金	9,720万3千円	18.0
県支出金	1千円	0
共同事業交付金	30万円	0.1
財産収入	469万1千円	0.9
繰入金	1,000万1千円	1.8
繰越金	501万円	1.0
諸収入	20万7千円	0
歳入合計	5億3,915万1千円	100

国民健康保険で、私たちのくらしにはとても大切な制度です。町では、この保険に一千六百四十九世帯四千二百六十九人が加入しています。今年度も医療費の増加傾向が引き続きものと考えられますので、みなさんも医療費の増加傾向の歯止めにご協力ください。

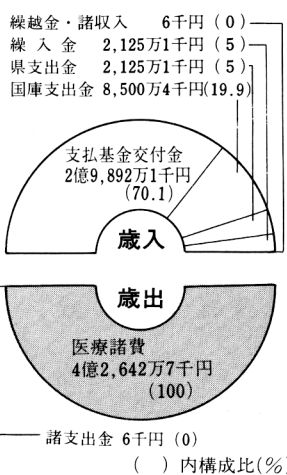
歳区	出	
	本年度予算額	構成比
総務費	1,836万7千円	3.4
保険給付費	4億1,956万4千円	77.8
老人保健拠出金	8,995万5千円	16.7
共同事業拠出金	307万1千円	0.6
保健施設費	145万1千円	0.3
基金積立金	457万2千円	0.8
公債費	1千円	0
諸支出金	17万円	0
予備費	200万円	0.4
歳出合計	5億3,915万1千円	100

# 老人保健特別会計予算

## 歳入・歳出

四億二千六百四十三万三千円

この会計は、高齢化社会にそなえて、七十歳以上（寝たきり状態の人は六十五歳以上）のお年寄り一千三百二十七人の病気から治療までを総合的に行う会計です。



# 水道事業会計予算

私たちの日常生活に欠くことのできない「安心して飲む水」よりおいしい水「を、常に安定して供給してくれるのがこの会計です。この会計は、みなさんから納められる使用

料金などによって賄われる収支勘定と、水を供給するために投資された施設などの資本的勘定に分かれ、企業と同じ独立採算制をとっていますので、水を大切に使用してください。

## 収益的収入および支出

区分	予定額
水道事業収益合計	1億8,058万2千円
営業収益	1億7,528万円
営業外収益	530万1千円
特別利益	1千円

区分	予定額
水道事業費用合計	1億2,357万5千円
営業費用	1億1,053万3千円
営業外費用	1,304万1千円
特別損失	1千円

## 資本的収入および支出

区分	予定額
資本的収入合計	1億1,200万円
企業債	9,000万円
負担金	500万円
補助金	1,700万円

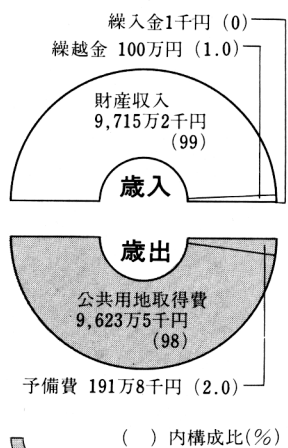
区分	予定額
資本的支出合計	2億218万1千円
建設改良費	1億9,770万円
企業債償還金	448万1千円

# 土地取得特別会計予算

## 歳入・歳出

九千八百十五万三千円

この会計は、予想される公共事業に対して、公共用地を先行取得するための会計です。今年度は、昨年度に比べ九千四百三十二千円の減です。



# 役場職員の人事異動(4/1付)

- ◇教育長 中央公民館長―中村助次
- ◇課長級 管理検査課参事―林勝(社会福祉協議会局長) 民生課参事―池谷勲夫(議事事務局局長) 社会福祉協議会局長―太田国弘(中央公民館長)
- (昇格) 議事事務局―佐藤志郎(総務課長補佐)
- ◇課長補佐 総務課―深沢尊明(民生課) 税務課―平岩康夫(産業振興課) 産業振興課―小沢勝己(税務課)
- ◇主幹(昇格) 水道課―渡辺章章(水道課)
- ◇係長(昇格) 中央公民館―近田弘(総務課主査) 建設課―森佑司(建設課主査)
- ◇主査 民生課―若月眞查(建設課) 民生課―渡辺高秀(環衛課) 産振課―谷津倉功(民生課)
- (昇格) 議事局―浜村公子(総務課) 総務課―田村百香子(総務課) 民生課―木伏和子(民生課) 給セ―木伏貴彦(学給セ) 建設課―鈴木章司(産振課) 総務課―藤谷義行(総務課) (県への派遣を解く) 民生課―大石博一(県高齢者対策課)
- ◇主事 総務課―望月規江(出納室) 税務課―植松旦子(民生課) 出納室―田村絹枝(税務課) 教育課―宇佐美美朱(第二中) 第二中―篠原ますみ(第一中) 第一中―遠藤美恵子(教育課)
- ◇用務員 第一小―若月栄(学給セ) 第二中―星崎政江(第一小)
- ◇保母等 (岩瀬保育園) 園長―遠藤節子(松千代保) 保母―望月裕子(松千代保) 調理員―清照子(松千代保)
- (松千代保育園) 園長―望月靖子(北松野保) 保母―川島和代(岩瀬保) 調理員―浦野幸子(老想家)
- (北松野保育園) 主任保母―望月しげ子(松千代保) 保母―常盤典子(松千代保)
- (老人憩の家) 用務員―木伏八子(岩瀬保)
- ◇奥市町村人事交流及び一部事務組合との交流 建設課主幹―清利之(富士土木事務所) 教育課主幹―水谷式哉(第二小) 総務課主査―遠藤哲弘(郡環衛組合)
- ◇新採用(主事補) 総務課―久保田高典 環境衛生課―石川浩之
- ◇奥市町村人事交流を解く 奥市町村文書課―村松由隆(民生課係長)
- 第二小―本莊隆道(教委主幹・派遣社教主事)
- (管検課主幹) 山下和子(管検課係長) 佐野百合子(議事局主査) 久松としゑ(岩瀬保育園長) 坪内和子(第二中用務員) 小林恒子(第二小用務員)

# 教育長に中村助次氏就任



中村助次氏 (61) (堺町)

4月1日から中村助次氏(六一・堺町)が、3月31日付で退職された望月康江教育長(七一・舟山町)の後任として、教育長に就任しました。中村新教育長は、昭和20年静岡第二師範学校本科卒業後、富士川小学校教諭、由比町立北小

学校長などを経てから中部教育事務所指導主事・管理主事を歴任し、56年から61年まで五年間、第一小学校長を務め、この間、県校長会常務理事や郡校長会長などの要職も歴任されました。就任にあたり「学校や社会教育施設も諸氏の努力によって大変充実し、諸活動が活発に行われていますので、更に良い環境づくりに努めていきたいと思っております。ご指導ご協力をお願いします」と話していました。

# 清水さんのキウイが県知事賞に



清水善穂氏 (72) (富士見町)

3月13日「第五回県キウイフルーツ園地共進会」が、静岡市の県農業会館で行われ、清水善穂さん(七二・富士見町)が最高賞の県知事賞を獲得しました。

清水さんは「ミカンが低迷していましたので、昭和50年頃、思いきってキウイの栽培を始めました。日蓮聖人のお言葉を信条とし、無欲で真心をこめて作っていましたので、このたびの受賞は感無量です。今後にも努力を重ね、良いキウイづくりにがんばっていきたい」と話していました。

# 二十一世紀に向けた町づくり 新たな提言

パネルディスカッション

3月1日(日)中央公民館で、町制施行八十五周年記念事業として、齋藤穎夫氏、小川龍彦氏、田中祐三氏、常盤政治氏、常葉雅文町長がパネラーとして出席し、町の問題点やこれからの町づくりを討論した「ふじかわ二十一世紀 そして未来」と題するパネルディスカッション

パネリストが語る  
まちの印象

から大きく切り換える必要があらります。

愛護されてきたまちのみなさんに深い敬意をあらいます。



齋藤穎夫氏

ふるさとの文化ということを考えてみると、法隆寺とか奈良とかの国の第一級のを考えがちですが、東海道の一里塚に二本そろって榎を持つこれほど完全な史跡はないのであって、これを



小川龍彦氏

少年時代から心にひびいてるのはふじかわであって、ふじがわではありませんでした。地名というのは地元が一番発言権をもっていると思うんです。辞書などが不統一になつている呼び名について、みなさんの意見



田中祐三氏

**田中祐三氏**  
坂下出身(六三) エッセイスト  
長く朝日新聞社に勤め、週刊朝日副編集長、美術図書編集長をされ、その後執筆活動に入る。ヒューマニティあふれる随筆には得意とされる釣りを通して、ふじかわが出てくる。著書は「釣り場にて」など数多い。

**常盤政治氏**  
本島出身(五九) 慶応大学経済学部教授  
沼津商業から横浜専門学校、慶応大学経済学部を卒業、専門は農業経済、近年、西独フライブルグ大学に留学され、帰国後は、各地で幅広い活躍をされている。著書は「農業恐慌の研究」など数多い。

## パネラーの先生方の略歴

**齋藤穎夫氏**  
坂下出身(八三) 名誉町民  
町議会議員二期(昭和24年〜28年)勤められた後、中央実業に出られ成功、全国環境衛生同業組合中央会理事長など、数多くの要職にあり、勲二等瑞宝章、ブラジル国グラントオフィシャル勲章を受章。

**小川龍彦氏**  
静岡市出身(七五) 静岡県文化財保護審議会会長  
文化財を通して当町にゆかりが深く、特に全国的に有名な木島式土器には造旨が深い。その活動範囲は広く、県内の美術館や博物館の要職も歴任されている。著書は「小川龍彦詩画集」思い出の静岡」など数多い。

をもとに、何らかの決議をしてまちとしてアピールしていったら。



常盤政治氏

**常盤**  
ふじかわにそつたこの町の地形は、あの有名なドイツワインのライン川周辺によく似ていて、収穫量の高いぶどうの生産地になり得る自然的な条件を備えている。そして、これを原料として、ワインの製造を手掛けてみたいかがでしよう。



常葉雅文町長

**町長**  
高度経済成長時代の「ないものを作る」から低成長時代の「あるものを生かす」へと考えを移すべきですね。その意味で富士川サービスエリアと、その周辺

を活用していく構想が夢です。

**町長**

二十一世紀、そして未来となると空の問題があると思いますね。その意味で富士川河川敷も静岡県で進めている空港の有力候補地としてなりうるし、発展のための要素となるのでは…。

**田中**  
この町は昔、渡船と岩瀬河岸、身延参詣のターミナルとして、この三つの要素で大きな繁栄を見せた時期があった。この後の歴史をつづつて、色々のエピソードも含め、若い人が読んでおもしろいようなパンフレットを作って、富士川町ルネッサンスと呼んでみたいですね。

### 町づくりへの提言

**齋藤**

この町の何か根拠となるいい、物を特産物として作り、量が少なければ安いところから買って売り出すようなことを、農業・商業も考えるべきである。産業の空洞化を何とかさけつつ、日本全体で今以上のこすつからさが必要になつていきますよ。

**小川**  
昭和二・三年頃、駅の近くの角の家に栗の粉餅の看板が下がっていました。この餅は古くから東海道でうまいものの三つに入っていた。名代をしようた名物の復活を考えてみたいかがでしよう。

**常盤**

ワインについての手続論をちよつとしてみると、ワインはアルカリ性で、健康にとってもよい。けれどワインであれば何でもというのは困る。ちゃんとグレードをつけて技術開発すべきで、実際に自分たちでやってみて農業試験場なりに持ちこみ、必要な予算などの獲得をねらうたら。



会場には大ぜいの町民のみなさんが



## 町制施行85周年記念 パネルディスカッション ふじかわ21世紀そして未来

ディスカッション開催風景



「食欲がありませんか」という質問に、「ライスカレーなら三杯くらいは食べます」と堂々と答えてくれる方が少なくありません。しかし、好きなものならたくさん食べるというの、食欲がないから食欲がないのも当然だと、食事を控えてしまふことが少なくありません。しかし、むしろ食欲がない時にこそ、食欲のない時こそしっかりと食べよう。

**朝食と食欲**

食欲がない時、少し身体の調子が悪いから食欲がないのも当然だと、食事を控えてしまふことが少なくありません。しかし、むしろ食欲がない時にこそ、食欲のない時こそしっかりと食べよう。

**朝食と食欲**

**朝の体操で食事をおいしく**

その、少し無理をしても食べておくことが必要なのです。このチョツとした注意が身体



「良い食品」だけでは健康は保てない  
快食とは種類をたくさん食べることであり、その意味でいわゆる「良い食品」、「悪い食品」などといった心配は不必要です。いかに良い食品でもそれだけ食べているのでは健康は保てません。

一方、悪い食品といわれているものでも、たくさん種類の中の一つや二つである限り大丈夫です。その意味で食品と薬は全然違うのです。しかも、多くの種類の食品を食べることは、食塩の摂取を制限するのにも役立ちます。

本来「保健指導」というのは、各人がもつ不安感を解消し得てこそ、その意義があるのであって、不安を押しつける「保健指導」とか「健康教育」は、健康を守るためには何の役にも立ちません。

指導 青山 英康  
岡山大学医学部教授

▽社会教育あれこれ△  
**光の中を**

日本人ほど四季の移り変わりや日常生活との係わりの深い国民はいないといわれる。それほど日本の国土は四季がはっきりしていて、衣食住すべてが季節に関係している。最近季節感が薄れてきたといわれていても、長い間の生活習慣は九月の暑い頃の入学式は馴じめないし、六月の衣替えは単衣がふさわしい。もちろん旬の食べ物は口にしたい。

今年もアパートの庭の片隅にラッパスイセンが咲いた。草丈は低く、花びらも小さい。しかし、小さいなりに太陽に向かって一杯の晴れの舞台である。比較的暖かいこの冬であったが植物には冬はきびしい。陽光は薄く、大地は冷たい。そのつらい環境の中でも春の訪れをじつと待つ。その待つ心が実を待たせてくれる。春の訪れを信じているのだ。春はうれい。やわらかく明るい光があふれ、地球上の生命あるものが、その光の恵みを受けて成長していく。その光を受けて美しく光り輝く。もしこの天の恵みがなかったらと考えると、ただで空恐ろしい思いがする。陽光はまさに我が子に注がれる親の限りない愛情にも似たすばらしい愛なのだ。この世に生を受けた子が親の愛情を受けたいほど不幸なことはない。陽光を受けぬ所で育つ植物は色を失い、あるいは葉を落とし、けつして美しい姿とはいえない。不幸なことには、親の愛情が何らかの理由で注がれることなく大きくなっていく子どもがいることである。

その名を知られることの少ない野辺の雑草でさえ、帰る家のない野良猫にさえ陽の光は惜しみなく注がれる。

21世紀に生きる子どもたちは光の中を歩ませたい。愛に満たされた世界の中を歩ませたい。

ご愛読ありがとうございます。  
前派遣社会教育主事  
本 庄 隆 道

**家族で話し合おう**  
**バイク編**  
**滑りやすいものに**  
**神経を使おう**

**雨の日の走行①**

雨降りの日は見通しも悪いし、滑りやすく運転しにくいので、水たまりなどに気をつけながら皆さん十分注意して走っているとあります。ところが、道路の上に引かれてあるライン（白線など）の上やマンホールの上、路面電車の上を走るときは、意外と無神経になつていないでしょうか。何の気なしにマンホールの上を、ちよつと車体を傾けて走り抜けようとしたら「ツルリ」とタイヤが滑り出し、バ



**3月の交通事故**

人身事故	9件(3)	合計18件(9)
物損事故	9件(6)	
富士川身延線	4件(1)	
国道一号线	6件(5)	
町道	7件(1)	
県道	1件(2)	
その他	0件(0)	

( )は昨年



**町の昔ばなし伝説(二〇)**  
**富士川を漂着した神・仏**  
**北松野の文殊菩薩**

今から三百年位前のことである。連日の豪雨で、富士川は大洪水となりました。この洪水で甲州では大きな被害に見まわれ、北松野の北ヶ糸の人が、フト楠の大木を見上げると、なにやら木の枝に引掛かっている、光を放っているものがありました。不審に思つてこれを降ろしてみますと、それは優美に作られた仏像でした。村人たちは、この仏像をいろいろ調べた結果、甲州の市川大門の文殊堂の本尊だとわかりましたのでこの仏像を市川大門の文殊堂に帰しました。

その次の年、また富士川は大洪水となりました。洪水が引いた後、北ヶ糸の人が、楠の大木をみると、不思議なことに去年と同じように仏像が引掛かっておりました。村人たちは、同じ所に同じ仏像が来るのは、きつとここ

で祀ってくれということではないかと思ひ、このことを市川大門の人たちに相談しました。そして、文殊さまが着いた楠の大木の付近にお堂を建てて祀ることになりました。

文殊堂の縁日は、正月二十五日ですが、この日は旧内房村の芭蕉天神社の祭日でもあるので、遠近の人たちが文殊堂と芭蕉天神社に参詣したので大いに賑いました。

**岩瀬八坂神社の御神体**

昔、岩瀬の人達は、富士川の渡船を村役として行っていました。或る日、村人が川岸で流れをみていますと、上流から丸い石が二つ水面に浮かんで流れて来ました。

不思議なことがあるものだ。と村人はこの石を拾い上げました。そして、この石はきつと、村の安全を守ってくれる瑞祥にちがいない。といつて御神体として祀ることにしました。これが、岩瀬の八坂神社の御神体です。

# 戸籍の窓

## かなしみ

## お母さんの知恵袋

## 富士川短歌会

S 62・2・15 3・14届出分

(敬称略)

### おめでた

区名	氏名	保護者	続柄
旭町	大島千帆	豊	長女
川坂	高橋秀幸	泰規	長男
四十九町	佐野裕介	雅彦	長男
宮町	望月裕也	歳一	三男

区名	氏名	年齢
相生町	疋田崑み子	七六
舟山町	瀧 つね	九二
旭町	立花平次	八七
新町本町	紫垣 馨	五四
東町二	望月さと	七九
東町一	安田さだ子	六九
南町一	望月数馬	六八
大北町	蓮池 ぬい	八五
大北町	松下 昭	五七

相生町 疋田崑み子 七六

舟山町 瀧 つね 九二

旭町 立花平次 八七

新町本町 紫垣 馨 五四

東町二 望月さと 七九

東町一 安田さだ子 六九

南町一 望月数馬 六八

大北町 蓮池 ぬい 八五

大北町 松下 昭 五七

### 一里塚



私は、交流職員として一年間富士川町役場に籍を置いた者です。

町の印象は、自分が由比町出身なので違和感を感じるものはありませんでした。住民の殆どは、意識しているかどうかかわかりませんが、愛する郷土で仕事をし生活をするといい単純かつ至上の喜びにひたりきり、よく言われる「遠州のやらまいか精神」に対する「駿河の止めまいか精神」とでも言うべきものが

精神」はあつてもよいものではないかと思えます。

それにしても、これからの町行政は大変だと思えます。企業だけに頼っていたら不況になって過疎の町になってしまった、という例がそこらにころがっている時代です。「止めまいか精神」は少し抑えておく必要があ

りそうです。

以上とは全然関係ありませんが、昼休みに役場からジョギング可能な範囲は概ね次のとおりです。野田山中腹、新蒲原駅、富士川河口、富士駅、役場のジョギング愛好者の皆さん、頑張ってください。

一年間お世話になりました。

昭和58年4月号から4年間「広報ふじかわ」の編集を担当させていただきましたが、62年4月号をもって遠藤哲弘君にバトンタッチすることになりました。

ご協力ありがとうございました。後任者にも絶大なご支援をお願いいたします。(近田)

春の雑草は、丈が低く花も小さいのが特徴です。時季が浅いほど同じ種類でも丈が不揃いで頭が揃えば春もたけなわです。

身近な雑草を草の目線になってじつとみつめると、そこには思いがけない発見があります。

人知れず咲き、人知れず散って行く、そして、あまりにも美しく、遅しく、みずみずしい春の花です。

草木を人間と、どちらが先に地球上に生まれてきたかといえ

ば、もちろん草木が先です。

そんな雑草と語り合いながら、小さな器に、低めに生けてみてはいかがでしょうか。

せり、なすな、ごきよう、はこべら、ほとけのぎ、すずな、すずしろ、これぞ七草。(婦人会)

春の野に立つと、生まれたばかりの雑草に出会います。春、土から若芽が生まれ、花が生まれます。野の雑草たちが春の陽を浴びて、その自然の恵みを謳歌するとき、そこには生きる歓びが輝いてみえます。

春の雑草は、丈が低く花も小さいのが特徴です。時季が浅いほど同じ種類でも丈が不揃いで頭が揃えば春もたけなわです。

身近な雑草を草の目線になってじつとみつめると、そこには思いがけない発見があります。

人知れず咲き、人知れず散って行く、そして、あまりにも美しく、遅しく、みずみずしい春の花です。

草木を人間と、どちらが先に地球上に生まれてきたかといえ

ば、もちろん草木が先です。

そんな雑草と語り合いながら、小さな器に、低めに生けてみてはいかがでしょうか。

せり、なすな、ごきよう、はこべら、ほとけのぎ、すずな、すずしろ、これぞ七草。(婦人会)

1月詠草(天野寛選)

上町 望月 晴子

元日に見し鶴の群三月となり出水の空より北帰行始むと

相生町 藤沼 満

病癒えこの教室に見ゆる日を祈りて待ちしに君は逝きたり

新町 深沢千代子

時の鐘つきて仰げば如月の八日の月のさえざえと見ゆ

本通三 桐谷 静子

椋鳥の細かく歩みてついはゆる寒に入りての薄日の中に

南町一 上野みつ子

花祭り踊りの中に恍惚の表情をして旅人加はる

小池 土橋 節子

クラス会卒えて五十年経しままに記憶たどりつ話の尽きず

本通一 望月 録

甘き香に人恋ほしめて独り寝の吾に夢さそう部屋のジャスミン

相生町 長谷川ゆり子

庭椅子に地の上にあかくあざやかに落ちかさなれる一重の椿

新町 村山 越子

れんぎょうの枝を囲いし紐とけば雨粒散らしつつ黄にひろがれり